

KEYAK!

10月号

暑さがいつまで続くのかと思っていたら、急に涼しく爽やかな気候になってきました。それと同時に子どもたちも運動会の取り組みに向けて徐々にエンジンが掛かってきたように感じます。

それより少し前に私、急遽飛んだり跳ねたり走ったりする機会に恵まれました。しかし、序盤から（というよりほぼ前半から）足が上がらなくなり、もたつきつまづき今にも転びそうと残念な状態で、人前なのでやーめピ、もできず命からがらやり通した感じでした。星になったと思いました。

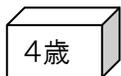
反面教師ですが、子どもたちは元気で少しくらい疲れてもすぐ復活できます。以前から言っているとおり、子どもたちには体を動かす楽しさ、というより体を動かせることに対する喜び、を実感してもらいたいなと思っています。それと同時に体を動かしたことへの充足感ややりきったことへの達成感を味わってもらいたいです。さらに反面教師になりますが、この運動会に向かう取り組みの過程の中では、失敗があってもいい、失敗があるからいいとも思っています。失敗とはうまくいかない体験のことです。自分ではもっとこうしているつもりなのにうまくいかない、自分は足が速いしすごく頑張ったのに1番になれなかった、なぜだろう・・・？ そんなことを取り組み期間中に先生と、クラスの仲間たちとやりとりしたり、見たり聞いたりしながら少しでも高まった自分で運動会を迎えられたら、その経験や体験は立派な成長となり糧となって彼らの中に残ることでしょう。そんな部分に期待しています。

話変わって(?)この時期忍者もけやきの木から舞い降りてくるころですが、忍者も意外と副業で生計を立てている場合があるのであまりバク転しろとか派手なアクションなどムチャな願いはなかなかできません。みんなが怪我もなく運動会を迎えられるよう、当日も含め保護者の皆様の応援、声援、ご協力のほどよろしくお願い致します。

今月のねらい（育ってほしい姿や経験してほしいこと）



- ・ 簡単な集団遊びに興味をもち、ルールなども理解してくる
- ・ 運動会が終わった後も、友達とかけっこやダンスをしたり、年中・年長児の競技をまねたりしながら、新たな遊びに挑戦してみようとする



- ・ 散歩などをしながら、秋の自然に興味、関心をもち、触れて遊ぶ
- ・ クラスのみんなと一緒にする遊びや活動に、喜んで取り組もうとする
- ・ 仲間のよさを認め合い、評価し合える雰囲気ができる
- ・ 自分なりの思いやイメージをいろいろな方法で表現したり、相手に伝えようとする



- ・ 運動会を体験したことにより、クラスや学年など集団のまとまりが強くなっていく
- ・ 友達と考えを出し合いながら、互いのアイデア、イメージを共有できる
- ・ 様々な材料に触れ、素材の特徴を感じながら、製作あそびを楽しむ